

せってん

「ボランティアは、誰かのためだけに行っているものだと思っていだけれど、自分のために、そして、自分の意志をもってやるものだとわかった。」「自分の気持ちも相手の気持ちも大切にしていきたい」「高校生だから何もできないのではなく、高校生だからできることがたくさんあると気づいた」

これは、石川県教育委員会で実施している「高校生ボランティアリーダー養成合宿」に参加した高校生の言葉です。この合宿は、各校のボランティア活動のリーダーとな



みんなが輝く社会をめざして

石川県教育委員会事務局生涯学習課

課長 篠原 恵美子

る生徒を養成し、活動の更なる活性化を目的としています。「交渉力」をテーマとし、地域社会におけるボランティア活動や福祉、安全等についての講習や実習、体験活動、ワークショップ等を行った後、自分で実際に活動計画を作成します。参加した高校生は、学校に戻りボランティアリーダーとして、自分たちが計画した活動を中心となって進めていくという大きな役割を担いながら課題を克服しながら活動を進めていくことで、高校生は人との

折しも、国は「地方創生」を最重要課題と位置づけています。『学び続ける』社会、全員参加型社会、地方創生を実現する教育の在り方についてをテーマとした教育再生実行会議の第六次提言では、地方創生には教育がエンジンとなると述べられています。地方の人口減少と地域経済縮小という課題を克服し、地方創生を成し遂げられるかどうかは、人材にかかっており、まさに、「教育」の力は大きく、地域を動かすエンジンの役割を担うと期待されています。

ます。この提言は私たち社会教育行政に携わるものにとつて、元気が与えられる言葉であり、また、責任の大きさを感じて、身が引き締まる言葉でもあります。あらためて教育とは何なのかと原点にたちかえてみると、教育基本法では教育の目的について「教育は人格の形成を旨とし、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」と述べられています。冒頭の高校生の感想にあるように、人々が各々の役割を自覚し、積極的に地域社会に参画していきけるよう、それこそ「教育の力」で力強く後押ししていきたいものです。そして、この提言にある「多様な人材が担い手となる「全員参加型社会」、社会に出た後も、誰もが学び続け、夢と志のために挑戦できる社会の実現」のために努めることが、本県の社会教育に携わる私たちの役割と考えております。一人一人が心身ともに健康で、社会を支える担い手として、夢と志をもって生きていけるような明るい社会づくりをめざして尽力をさせていただきます。一人一人の小さな一歩が、自分だけでなく社会を変える一歩となると信じ、みんなが輝く社会を共に実現させていきましょ。

平成27年度事業計画・予算を承認

平成27年度理事会・総会

石川県社会教育協会

石川県社会教育協会の平成二十七年理事会・総会が五月二十三日(土)午後、県立生涯学習センターで開催されました。最初に新村会長及び篠原県生涯学習課長から挨拶をいただきました。

会長からは、一昨年の協会活性化対策の提言を受け、①協会規約を改め、協会の目的を「社会教育並びに生涯学習の振興に寄与する」としたこと、②行政や関係団体と連携を図ることから、会誌「せつてん」に県教委の紙面を設けて県の施策等を紹介していること、③「接点」に関係団体の活動報告を載せるなど連携に努めていること、④調査研究に関しては、「接点」に会員2名の研究事業を紹介したこと、更には昨年度十五名の新



多くの会員が参加した今年度総会

会員の加入があったことなどの発言がありました。また、最後に本日の議事の中の社会教育協会七十周年記念事業について皆様からのご意見をいただきました。次いで、総会の前に平成二十六年石川県社会教育協会功労者表彰が行われ、当協会や地域での社会教育活動に貢献された三名の方(次頁)に新村会長から表彰状と記念品が授与されました。

総会は、議長に盛田理事が選出された後、議事に入り、最初に平成二十六年度の事業報告、収支決算について審議が行われ、いずれも全会一致で承認されました。

続いて、役員改選の議事に入り、新村会長が再任されるなど新役員が次頁のとおり承認されました。

次に、平成二十七年の事業計画の説明が行われました。

- ① 会誌発行事業
- ・「せつてん」25号、「接点」63号
- ② 調査研修事業
- ・「フォーラム接点」
- ・県内4地区6カ所
- ・講演会 加賀市予定
- ・調査研究 接点に掲載
- ③ 社会教育功労者表彰事業
- ・平成二十八年総会で表彰
- ④ その他
- ・男の料理教室、大人の料理教室 (共催事業)

- ・ 明るい選挙推進協議会への参加
- ・ 県民大学校能登文化講座参加
- ・ グッドマナーキャンペーン参加
- ・ 石川県公民館大会への協賛及び参加
- ・ 石川県生活学校大会後援
- ・ マナビイフェア in 本多の森参加
- ・ 心の教育推進大会への参加
- ・ 生涯学習県民フォーラムへの協力
- ・ いしかわビデオ作品コンクール後援
- ・ 社会教育協会ホームページの充実
- ・ 資料等配布、関係事業の案内等

また、同時に平成二十七年収支予算案が説明され、審議の後、いずれも全会一致で承認されました。

次に、社会教育協会七十周年記念事業については、議案のとおり準備

平成27年度予算書 一般会計

収入の部	
科目	予算額(円)
会費	495,000
補助金	470,000
寄付金	0
繰越金	29,541
諸収入	459
合計	995,000

支出の部	
科目	予算額(円)
事業費	705,000
会議費	105,000
事務費	172,000
予備費	3,000
繰出金	10,000
合計	995,000

特別会計

収入の部	
科目	金額(円)
繰越金	523,098
繰入金	10,000
諸収入	102
合計	533,200

支出の部	
科目	金額(円)
事業費	0
合計	0

(三井住友信託銀行積立)

平成26年度決算書 一般会計

収入の部	
科目	決算額(円)
会費	471,000
補助金	470,000
寄付金	0
繰越金	29,753
諸収入	84
合計	970,837

支出の部	
科目	決算額(円)
事業費	692,466
会議費	86,889
事務費	151,941
繰出金	10,000
合計	941,296

次年度繰越金 29,541円

特別会計

収入の部	
科目	金額(円)
繰越金	512,996
繰入金	10,000
諸収入	102
合計	523,098

支出の部	
科目	金額(円)
事業費	0
合計	0

(三井住友信託銀行積立)

○新規加入会員(順不同)

- 平野 真人(輪島市)
- 福田 繁機(津幡町)
- 尾上 榮紀(輪島市)
- 詠 節子(金沢市)
- 東出 和夫(加賀市)
- 清水 美子(金沢市)
- 坂谷 敦子(能美市)
- 虎井 紀美子(野々市市)
- 小山 郁子(金沢市)
- 所司 耕(野々市市)
- 山本 眞理子(能美市)
- 木下 鋼典(小松市)

ご加入いただき有り難うございました。今後とも協会の活性化に向けてお力添えをお願いします。

委員会の設置及び記念誌の作成等が承認されました。

社会教育協会・役員一覧

(○印は新任)

顧問

木本 利夫 (前県議会議員)
○小寺 昭久 (前参与)

参与

○道端孫左エ門 (前参与)
○篠原恵美子 (県教委)

会長

旭 直樹 (加賀市)
○山岸 善二 (白山市)
○山本 敏久 (七尾市)
○鈴森 庸雄 (鹿島郡)
○谷内 厚子 (金沢市)
○梶本 逸子 (金沢市)
○新村 健了 (県教委)

副会長

○近藤 繁彦 (県生涯七)
○関戸 正彦 (県公連)
○勝木 育夫 (小松市)
○土室 完 (金沢市)
○濱田 繁 (鹿島郡)

常任理事

○梅田 和秀 (金沢市)
○上田 政憲 (加賀市)
○白村 浩邦 (小松市)
○清丸 亮一 (小松市)
○中嶋 敏一 (能美市)
○盛田 義弘 (白山市)

郡市理事

○本多 郁夫 (野々市市)
○山本 武之 (金沢市)
○作本 邦彦 (金沢市)
○小原 晴樹 (金沢市)
○岩本 弘子 (金沢市)
○坂本 清 (かほく市)
○坪内 健一 (河北郡)
○川口 絹子 (羽咋市)
○廣橋 賢 (羽咋郡)
○林 榮一 (鹿島郡)
○蔵 定伸 (七尾市)
○堀岡 啓吾 (七尾市)
○竹野 博正 (鳳珠郡)

郡市理事

左古 隆 (輪島市)
成之坊良輔 (珠洲市)

団体育事

○浅野 秀重 (金大地連七)
○平野 恒男 (県図書館協)

監事

○山内ミハル (養正の会)

幹事長

○熊岡 洋子 (GS県連)

幹事

○野田 政弘 (BS県連)

幹事

○川部 謙三 (生涯学習センター)

幹事

○村戸 建二 (ビデオクラブ)

幹事

○中川 泰邦 (金沢市)

幹事

○吉田 亮一 (白山市)

幹事

○森澤 哲雄 (県生涯七)

幹事

○清水 茂 (県教委)

幹事

○村澤 勉 (元県生涯七)

幹事

○石江 政信 (県公連)

幹事

○木原 宗信 (元県生涯七)

幹事

○湊 義昌 (元県生涯七)

幹事

○大家久美子 (金沢市)

祝 平成二十七年春の叙勲
平成二十七年春の叙勲において本会の副会長(石川県公民館連合会会長)である関戸正彦氏が旭日双光章を受賞されました。心よりお祝い申し上げます。

平成二十六年年度 社会教育功労者表彰

○白村 浩邦氏 (小松市)

☆これまでの功績

・小松市社会教育協会事務局長
・県社会教育協会理事
・県漢詩連盟理事

・町内いきいきサロンクラブ代表、その他多数の業務に精励

○大西 亮子氏 (中能登町)

☆これまでの功績

・旧鹿島郡女性連絡協議会会長
・中能登町社会教育委員
・中能登町愛唱会設立

・その他地域活動に精励

○中野 許子氏 (白山市)

☆これまでの功績

・美川生活学校代表
・県生活学校連絡会書記
・同協議会暮らしの輪編集委員
・美川町婦人会会長
・県推薦図書選定委員
・その他地域活動に精励

■会員の皆様へのお知らせとお願い

○七十周年記念誌の原稿を全会員の皆様から募集しますのでご協力ください。

○テーマは、回想や近況など何でも結構です。

○字数 三百六十字以内 (表題、氏名を除く)

○締切 平成二十八年一月末日

○問い合わせ又は提出先
〒九二〇〇一〇九三五
金沢市石引四一七七一

石川県本多の森庁舎内
石川県社会教育協会 (担当 森澤)

電話〇七六二二二二九五八三

社教春秋

今、県民一人ひとりが、心豊かに生きがいを感じ、明るく元気のある地域コミュニティの形成を目指すための生涯にわたる学習が求められています。そのような要求にこたえるため、石川県視聴覚教育協議会では、市町生涯学習機関等と連携しながら、ICT(情報通信技術)の進展や教育の情報化推進に対応した情報提供及び学習機会の充実を図り、生涯学習活動の更なる充実をめざして、様々な活動を展開しています。

▼社会教育において教育メディアを適切に、効果的に活用するための知識や技術の向上を図るよう、視聴覚セミナーやICT活用講座を開催しています。

▼地域の学習教材、いわゆる自作視聴覚教材の内容と制作技術の向上や教材制作の奨励のため、県民映像カレッジやいしかわビデオ作品コンクールを開催しています。

▼県内市町や生涯学習施設が実施する各種情報技術を取り入れた活用研修について、その経費の一部を助成しています。

▼地域の祭り、伝説、神話、民話、伝統芸能、伝統技能、習俗等を映像に記録・保存する、地域映像の制作活動をいかに支援していくかが今後の課題となっています。

石川県視聴覚教育協議会
事務局長 石野 周

展望

「学び続ける社会」の実現を

めざして

本県教育の総合的な指針である石川の教育振興基本計画には、「生涯学び続ける意欲に満ち、確かな学力を身に付け、個性や創造性に富む人間」を、めざす人間像の一つに掲げており、学びの気運に満ちた生涯学習社会の実現に向けて、県民大学の開講をはじめとして、様々な世代を対象とした学習機会の充実に努めているところである。

折しも、国の教育再生実行会議においても、「学び続ける」社会が標榜されており、社会に出た後も、誰もが学び続けることができ、その成果が社会で活かし、何歳になっても夢と志のために挑戦することや一人一人が自己充実感を持って幸福に生きていくことができる社会をめざすこととしております。そうした中において、生涯学習振興の要となる社会教育が果たす役割は大きく、市町や関係団体等との連携を大切にしながら積極的な事業展開を図ってまいりたいと考えています。

とりわけ、今年度は、若年層の学びの機会を充実させるべく、県生涯学習センターにおいて「ファミリー・カレッジin本多の森」を新たに開催することとしています。事業の内容は、忙しく学習機会に触れることの少ない三十〜四十歳代の子育て世帯にターゲットを絞り、同世帯が魅力を感じる異文化体験や、若手講師による講演会、子どもの交流イベントなどを、周辺文化施設と連携して開催するものです。この事業を契機

として、新長期構想に掲げる「全ての世代を通じての生涯学習の推進」に迫ってまいりたいと考えています。また、親の学びを支援するために、以下に述べる2つの事業を拡充して行います。

一つは、「肝心かなめの一年生塾開催支援事業」の実施です。

昨年度立ち上げた事業で、子育ての不安や悩みを抱えがちな小学校入学前の子どもを持つ保護者に対し、県内全小学校と連携し、新小学一年生の保護者に対して、幼少期から早寝・早起き・朝ごはん等規則正しい生活習慣を身につけることなどの重要性を周知いたします。今年度は、対象に新中学一年生をもつ保護者も加え、脳科学や発達心理学の観点から、思春期の特徴やそれを踏まえた子どもへの関わり方などの理解を深めていただくため、冊子の作成や講師の養成等を行う中、取組の充実に努めてまいります。

もう一つの親学び事業として、スマートフォンをはじめネット接続機器の適正利用を目的とした「ホッとネット大作戦」を昨年度に引き続き実施いたします。今年度は「ネット依存」に重点を置いた取組を行うこととしており、具体的には専門家の協力を得て、講座の開催や県内小中高等学校等の全保護者を対象とした啓発パンフレットを作成、配付するなど、親の学びにつながる最新の情報を提供していきたいと考えています。加えて、今年度の県の社会教育委員の会の協議題として、「超高齢社会における高齢者の学びと生きがいづくり」を設定し、委員の皆様方に、高齢化社会の進展を見据えた生涯学習の方向性と方策、そのための関係機

関・行政の役割について協議をいただきたいと考えています。

社会に役立つ「なりたいたい自分」に近づこうと、自己実現をめざしていくことは、人間の生来的欲求です。私たち社会教育行政を預かる者の役割は、学びの効果を信じ、学びたいと欲する人々の心に応えることだと考えています。今後も、すべての県民が、生きがいをもって学び続けられるよう、市町等とより連携を密にしながら積極的な支援策を講じてまいりたいと思います。

社会教育協会の皆様方には、今後とも、県の施策に対し、大所高所よりご指導を賜り、時代に対応した社会教育・生涯学習の進展にご協力をお願いいたします。

(石川県教育委員会生涯学習課)

課長 清水 茂

人事往来

(印は新任)

県教育委員会生涯学習課

課長 ○篠原恵美子

課長補佐 辻江 冬樹

◎庶務企画グループ

課長補佐 (GL) ○村木 茂

◎社会教育・心の教育グループ

課参事 (GL) 清水 茂

《社会教育担当》

課長補佐 網本 弘志

《青少年家庭教育担当》

課長補佐 清水由美子

《心の教育担当》

課長補佐 ○中尾 知巳

小松教育事務所

課長 高橋 正英

金沢教育事務所

課長 ○杉中 達夫

中能登教育事務所

課長 ○升屋 和夫

中能登教育事務所

課長 ○高野 勝

県立生涯学習センター

館長 (再) ○近藤 繁彦

副館長 (再) 森澤 哲雄

◎総務グループ

担当課長 (GL) ○伊東 整一

◎社会教育グループ

担当課長 (GL) ○西野 正洋

担当課長

担当課長 (再) 紺矢 亮一

◎学習情報グループ

担当課長 (再) 安達 俊夫

◎生涯学習センター能登分室

担当課長 (GL) 石野 周

分室長 (兼務)

担当課長 (再) ○高野 勝

担当課長 (再) 坂尻 忠秀

◎総務グループ

副館長 南 龍保

◎総務グループ

担当課長 (GL) ○平野 恒男

◎企画協力グループ

主 幹 (GL) 橋本 正哉

◎利用サービスグループ

主 幹 (GL) ○松原 英樹

主 幹 (GL) 太原 倫子

主 幹 (GL) ○高嶋 厚子

白山青年の家

所長 (指定管理者) 吉田 亮一

白山ろく少年自然の家

所長 (指定管理者) 崎山由樹夫

鹿島少年自然の家

館長 (指定管理者) 西川 恒明

能登少年自然の家

館長 (指定管理者) 角間 邦夫

自然史資料館

館長 (指定管理者) 水野 昭憲

あとがき

「せってん」をお届けします。北陸新幹線の開業により首都圏との距離もぐっと身近に感じられるようになりました。何よりも石川県への観光客が増え、特に、外国の方が金沢市内を歩いている姿を多く見かけるようになりました。さて、社会教育協会はまもなく七十周年を迎えます。事務局も記念誌の作成などに向けて忙しい日々が続きます。また、事務局では機関誌や事業等についても皆様からのご意見をお待ちしております。(森澤)